

2013.10.31 発行

第7号

基金だより



岩見沢校校舎



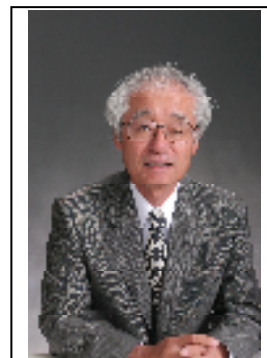
北海道教育大学

教育支援基金事業実施部

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本学は、教員の資質向上や地域社会に貢献できる人材を養成するため、平成18年12月に「北海道教育大学教育支援基金」を創設し、募金活動を実施してまいりました。

経済的に厳しい社会情勢により、募金活動は中々厳しいこともありましたが、平成24年度末には、7千万円を超える寄附を賜りました。本学教職員はもとより、企業、同窓会等にその趣旨をご理解いただき、温かい励ましとご協力をいただいております。多くの方々、企業等からご協力とご支援いただいておりますことに心から感謝申し上げます。



これまで、延べ547人の現職教員大学院生や大学院・学部の優秀学生に奨学金を授与いたしました。奨学金を受給した大学院生・学生は授与されたことに大きな誇りを持ち、「多くの方々の期待の中で学んでいることを改めて実感し、これからも頑張っていこうという意欲が湧きました。」との言葉もありました。このことから、奨学金事業の意義は大変大きなものであると感じています。

今、教育現場では、いじめ、不登校、非行、学力の低下等様々な課題が山積みになっています。本学では、これらの課題の解決に適切に対応でき、教育のプロとしての自覚をもった教員の育成を目指しています。

さらに、平成26年4月には、いわゆる新課程の改組として、国際的視野と教育マインドを持ち、豊かなコミュニケーション能力を発揮しながら、地域を活性化できる人材を育成する「国際地域学科」と芸術やスポーツの文化価値を地域の様々な課題解決へ活用し新たな文化ビジネスへつなげる発想を持つ地域再生の核となる人材を養成する「芸術・スポーツ文化学科」の設置を目指しています。

これらの目的達成のためには、しっかりとした教育体制や教育環境の整備充実はもとより、学生自身の自発的で積極的な学習への取り組みを奨励・支援し、学生の意欲を喚起する仕組みが必要であると考えており、この「北海道教育大学教育支援基金」による奨学金事業を今後も充実・継続していきたいと思っております。

本学は「人が人を育てる北海道教育大学」を合い言葉に、地域人材の養成に努めてまいりますので、今後とも本学へのご支援と基金へのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成 24 年 度 事 業 報 告

平成 24 年度事業として以下のとおり実施しました。

人材育成事業

- ① 大学院での研修に励む現職教員への奨学金支給
 - ・ 専門職学位課程の大学院生 31 名に対し、1 人 20 万円
 - ・ 修士課程の大学院生 25 名に対し、1 人 10 万円
 - （前期のみ在学していた専門職学位課程の大学院生 1 名に対し 5 万円）

計 865 万円を支給

- ② 優秀な大学院生（現職教員以外）への奨学金支給
5 名に対し、1 人 10 万円 計 50 万円を支給
- ② 優秀な学部学生への奨学金支給
15 名に対し、1 人 10 万円 計 150 万円を支給

合計 76 名 1,065 万円を支給。



札幌キャンパス



函館キャンパス



旭川キャンパス



釧路キャンパス



岩見沢キャンパス

基金の収支状況

平成25年3月までのご寄附の状況、支出の状況は次のとおりです。

(単位：円)

収 入		支 出	
個人からの寄附金	28,963,000	人材育成事業（奨学金支給）	62,350,000
法人等からの寄附金	40,343,000	現代的教育課題への研究支援事業	306,188
「どさんこ創生塾」からの寄附金	5,190,000	その他（口座振替手数料）	64,315
		合 計	62,720,503
合 計	74,496,000	寄附金残額	11,775,497

奨学金受給者数

平成19年度

(単位：人)

修 学 校	大 学 院 生		学 部 学 生	計
	現職教員	その他		
札幌校	7		6	13
函館校	3		6	9
旭川校	5		6	11
釧路校	3		6	9
岩見沢校			6	6
計	18		30	48

平成20年度

(単位：人)

修 学 校	大 学 院 生		学 部 学 生	計
	現職教員	その他		
札幌校	32		6	38
函館校	4		6	10
旭川校	15		6	21
釧路校	13		6	19
岩見沢校			6	6
計	64		30	94

平成21年度

(単位：人)

修 学 校	大 学 院 生		学 部 学 生	計
	現職教員	その他		
札幌校	37	5	6	48
函館校	4	1	6	11
旭川校	23	2	6	31
釧路校	15	1	6	22
岩見沢校			6	6
計	79	9	30	118

平成22年度

(単位：人)

修学校	大学院生		学部学生	計
	現職教員	その他		
札幌校	31	5	3	39
函館校	4	1	3	8
旭川校	15	1	3	19
釧路校	11	1	3	15
岩見沢校			3	3
計	61	8	15	84

平成23年度

(単位：人)

修学校	大学院生		学部学生	計
	現職教員	その他		
札幌校	34	2	3	39
函館校	1	2	3	6
旭川校	11		3	14
釧路校	9	1	3	13
岩見沢校			3	3
計	55	5	15	75

平成24年度

(単位：人)

修学校	大学院生		学部学生	計
	現職教員	その他		
札幌校	32	1	3	36
函館校	2	2	3	7
旭川校	15	1	3	19
釧路校	7	1	3	11
岩見沢校			3	3
計	56	5	15	76

寄附者のご紹介

北海道教育大学教育支援基金は、平成18年12月に創設以来、これまで多くの方々にご協力をいただき、学部学生、大学院生への支援をはじめ、いじめ、不登校などの現代的教育課題に関する研究への支援等を行っております。

ここに、そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、ご同意をいただいている方々のご芳名とご寄附額をご紹介させていただきます。

また、高額のご寄附をいただきました方には、事務局正面玄関に設置しております、教育支援基金寄附者の銘板にご芳名を掲示させていただいております。皆様には、引き続き本基金にご支援くださいますようお願い申し上げます。

寄附者ご芳名（お申込み順、敬称略）平成25年10月31日現在

※ ご芳名の掲載を希望されない方は、掲載を割愛させていただきます。

※ 確認の上掲載させていただいておりますが、改めてご寄附額を掲載されたい場合等は、お手

数ですが、巻末にあります連絡先までお知らせ願います。
 ※ 受入順で掲載しております。

【企業、法人、団体等（ご芳名と寄附額の掲載についてご承諾いただいた企業、法人、団体等）】

株式会社北洋銀行	5,000,000 円	北海道教育大学夕陽会	5,000,000 円
中山食品工業株式会社	200,000 円	北洋システム開発株式会社	100,000 円
株式会社昭和総業	50,000 円	株式会社にしりん	50,000 円
札幌南ロータリークラブ	10,000 円	株式会社アミノアップ化学	100,000 円
株式会社ブリプレス・センター	100,000 円	株式会社正文舎	100,000 円
北海道教育大学青陵会	5,000,000 円	社団法人北師教育文化振興会	5,000,000 円
北海道教育大学鶴陵会	5,000,000 円	北海道教育大学六稜会	5,000,000 円
株式会社藤井ビル	300,000 円	荒井建設株式会社	20,000 円
旭川電気軌道株式会社	10,000 円	旭川通運株式会社	10,000 円
医療法人社団慶友会吉田病院	60,000 円	大地コンサルタント株式会社	30,000 円
日成工機株式会社	10,000 円	北海美掃株式会社	20,000 円
第一砕石株式会社	10,000 円	株式会社蔵元	10,000 円
株式会社北海道健誠社	20,000 円	株式会社坂下工務店	10,000 円
北海道教育大学生協同組合	500,000 円	協同出版株式会社	200,000 円

【企業、法人、団体等（ご芳名のみ掲載についてご承諾いただいた企業、法人、団体等）】

財団法人放送大学教育振興会	財団法人日本国際協力センター
株式会社札幌銀行	池田煖房工業株式会社
北海道電力株式会社	株式会社三八
上光証券株式会社	手稲ロータリークラブ
札幌ロータリークラブ	大輝印刷株式会社
交洋不動産株式会社	北海電気工事株式会社
北海道旅客鉄道株式会社	株式会社 KDS 札幌支社
財団法人札幌市中小企業共済センター	株式会社ホクシンラマナプロジェクト
札幌映像プロダクション	株式会社プラスエージェンシー
北幹警備保障株式会社	北海道ビルサービス株式会社
今井金商株式会社	株式会社シズナイロゴス
ダイコク交通株式会社	ルンベル旭川
札幌商工会議所理事・部長職一同	株式会社みんなのことば舎
株式会社札幌ドーム	富士火災海上保険株式会社
山藤三陽印刷株式会社	株式会社乃村工芸社北海道支店
株式会社札幌第一興産	医療法人社団カスサップ ロ LSI 札幌クリニック
社団法人北海道未来総合研究所	株式会社クラーク総研
証券会員制法人札幌証券取引所	株式会社きのとや
ストレンジャー 2 1	株式会社ヤマシタ
株式会社デジック	株式会社須田製版
札幌商工会議所女性会	札幌商工会議所
株式会社世起	北海道火災共済協同組合
丸果札幌青果株式会社	株式会社ピーアールセンター
株式会社モーニング	株式会社シービーエス札幌営業所
TKデザイン	株式会社エスコムプレーン
東京海上日動火災保険株式会社	行政書士東方事務所

株式会社コナミスポーツ&ライフ	アド・フレッシュ有限会社
株式会社東京商工リサーチ北海道支社	有限会社秋田デザインイズム
有限会社エスプリング	株式会社恵和ビジネス
泰和石油株式会社	株式会社桐光クリエイティブ
株式会社テレビ北海道	佐藤印刷株式会社
株式会社ニトリ（ニトリ北海道応援基金）	岩田地崎建設株式会社
旭川ロータリークラブ	株式会社札幌振興公社
エア・ウォーター・サービス株式会社	社団法人札幌観光協会
エア・ウォーター株式会社	株式会社アインファーマシーズ
株式会社北海道新聞社	サザエ食品株式会社
小樽信用金庫	京和商事株式会社
東洲友の会	北海道農業協同組合中央会
村井建設株式会社	釧路信用金庫
株式会社サトービル	新谷建設株式会社
株式会社旭薬調剤センター	旭川信用金庫
株式会社旭ダンケ	株式会社すぎを
株式会社橋本川島コーポレーション	株式会社中野銘木店
赤川建設興業株式会社	株式会社エヌシーマック
株式会社北海道銀行旭川支店	株式会社そごう・西武 西武旭川店
山室繊維株式会社	株式会社ダイイチプランニング
小城公明税理士事務所	株式会社電業
トーエー企業株式会社	田中板金工業株式会社
旭川トヨタ自動車株式会社	旭川ターミナルビル株式会社
なかせき商事株式会社	株式会社ライナーネットワーク
株式会社日興ジオテック	株式会社日専連旭川

【個人（ご芳名とご寄附額の掲載についてご承諾いただいた方）】

三浦 秀雄	200,000 円	高向 巖	1,000,000 円	本間 謙二	1,742,000 円
渡部 英昭	135,000 円	吉田 昭穂	60,000 円	大黒 静治	10,000 円
星野 良	92,000 円	伊藤 則博	10,000 円	磯脇 和平	10,000 円
亀畑 義彦	10,000 円	敦賀 徹	110,000 円	笹谷 春美	80,000 円
佐々木 馨	50,000 円	夏井 邦男	30,000 円	吉田 繁延	5,000 円
蛇穴 治夫	246,000 円	村田 芳久	20,000 円	小松 丈晃	35,000 円
岡本 次郎	13,000 円	久綱 忠夫	300,000 円	瀬川 秀良	100,000 円
石尾 直博	20,000 円	玉井 康之	30,000 円	山地 博之	32,000 円
大瀬 紘興	10,000 円	前岡 和雄	12,000 円	久保 良宏	61,000 円
岡崎 由夫	60,000 円	芝木 邦也	158,000 円	須田 康之	30,000 円
森田 寛	130,000 円	石山 洋一	12,000 円	奥田 亨	30,000 円
新保紅実子	20,000 円	眞田 雄三	277,000 円	高橋 伸幸	30,000 円
舟越 芳男	20,000 円	滝川 幹	50,000 円	稲上 保彦	10,000 円
中田美知子	30,000 円	城後 豊	78,000 円	戸田 浩幸	30,000 円
守田由美子	1,050,000 円	伊藤 美紀	32,000 円	小川 東洲	100,000 円
前田 克彦	82,000 円	瀬山 幸二	50,000 円	森下 憲次	40,000 円
富樫 繁樹	10,000 円	松岡 和久	100,000 円	早川 正	100,000 円
白敷 進	50,000 円	志手 典之	37,000 円	佐々木和彦	50,000 円
小林 佳之	46,000 円	後藤 泰宏	35,000 円	品田 亮子	5,000 円
大崎 功雄	330,000 円	森 章	38,000 円	吉仲 崇	2,000 円

佐藤 文音	10,000 円	精進 直樹	20,000 円	玉川真里子	30,000 円
笠間 勇二	20,000 円	竹本 昌樹	10,000 円	柿沼 博彦	500,000 円
森 範行	50,000 円	菅沼 雅絵	10,000 円		

【個人（ご芳名のための掲載についてご承諾いただいた方）】

齊藤 健司	村山 紀昭	佐々木 茂	岡部 三男	今 尚之	前田 眞
谷本 一之	奥野 亮輔	荒島真一郎	藤根 信章	綾部 史夫	野村 公
中谷 弘	岡本 靖正	外崎 與之	大塚 達也	田村 光規	十亀 昭雄
伊藤 千秋	上條 雄也	片岡 寛治	衣川 實	望月 正男	長谷川 致
東海林明雄	斎藤 孝	瀧波 武	長谷川 工	原田 行造	小原 孜郎
藤本 誠造	小檜山 博	佐藤 孝夫	下元 利之	藤波 信成	竹田 勝
伊藤 裕三	祖母井里重子	伊藤 潮	鈴木 明彦	中原 勇夫	諸橋 輝雄
東 尚巳	橋本 美則	新里 光代	堀川 守正	安田 侃	川江 実
笹原 義雄	池田 保夫	八町 憲一	玉村喜代治	湊 公夫	石井 久
吉田 弘夫	大塚 哲郎	中田 秀彦	福田 薫	山崎 節雄	松本 禮一
芳賀 卓	吉沼 一	鈴木 正徳	大平 幸紀	関口 裕昭	谷口 賢司
弘中健一郎	南谷 誠	山口 栄三	山口 洋志	田島 與久	馬場 俊臣
本堂 知彦	水野 政勝	吉原 英夫	瓜生 淳一	大坂 治	長田 友紀
鹿嶋 利幸	佐藤 直人	新開谷 央	杉浦 清志	曾我部和明	高木 重俊
高田 康作	竹鼻 洋文	舘脇 武光	出村 克弘	徳永 好治	林 義明
福田 翼	藤田 雅史	三澤 壽喜	三橋 功一	若松 泰生	海老名 尚
片山 晴夫	佐々木久視	立花 捨美	宮家 康浩	山本 光朗	吉田 正生
渡辺 由光	浅井 良之	佐々木 巽	清野 隆	皆川 治恵	村瀬 千櫻
高橋 勇輔	太田 晶久	村山 登	小黒 貢	海藤 晃弘	上岡 宏
横谷 英次	鈴木 淳一	和田 謙二	山下 克彦	山田 カヨ	宮腰 秀弘
植木 克美	後藤 守	庄井 良信	馬場 俊臣	増淵 哲子	山本 勇一
澄谷 智靖	遠藤 芳信	大坪 嘉昭	山崎 正吉	田丸 典彦	青木 英昭
尾関 俊浩	古川 昇	媚山 敏文	新田三智也	長坂 好男	尾崎富美子
奈良 一三	小島 三司	沼田 元一	林 敬二	辻井 義昭	勝俣 美治
橘 ヒサ子	スガワラ トオル	野川 潔	冨田 勤	浅木 洋祐	河 鍊洙
相馬 一彦	櫻井 兼市	鬼丸 吉弘	五十嵐雅浩	會澤 義雄	伊藤 功俊
伊藤 隆介	落合 清治	澤出 宗利	橋場美紀雄	宮崎 素	山田 正二
吉見 孝夫	小平 征雄	後藤 嘉也	坂本 紀子	野呂 佳生	藤井 廣美
松浦 俊彦	宮田 省一	山本 道隆	阿部 修	安藤 豊	氷見山幸夫
八重櫻良二	鎌田 浩子	村上 知子	吉崎 祥司	今野 孝明	青木 満里
大内 定	大久保和義	神田 房行	岩船 寛	加藤 俊孝	尾形 猛
横山 充	金子 俊之	青山 敏彦	蛭田 眞一	佐藤 道之	芳根 和子
鎌塚 宗一	阿部 哲夫	吉光寺勝己	久保田浩文	小林 一博	佐藤 毅
花輪 大輔	水上 俊司	村瀬 清史	室山 俊美	森下 智之	東海林耕太郎
高橋 庸哉	流田 雅己	本庄 康伸	吉村 功	川上 隆幸	平野 雅宣
戸田須恵子	小林 宏明	奈良 盛	臼井 博	大久保康德	大津 和子
川畠 利春	佐藤 吉文	菅股 庄二	田中 昌弥	林崎 誠司	上山 恭男
田中 和久	浅川 哲弥	荒岡 良明	内島 貞雄	幸谷 晃	斎藤 祥子
酒井 義信	佐藤 隆	芝木美沙子	南部 正人	古川 宇一	横尾 實
伊藤 俊彦	岡谷 崇志	佐野比呂己	寺山 秀人	芳賀 敦	八木 利夫
三浦 弘	菊嶋 明廣	栞山弥壽男	坂口 勉	清野 きみ	押手 敬
鈴木 博	笠井 稔雄	藤井 英嘉	向井 慎一	佐竹 道盛	渡部 俊夫

米谷	元捷	中村	秀子	福井	昌樹	石井	仁	瀨川	良明	穴水	光輝
中西	信行	中村	公子	柴田	敬祥	辻川	智宏	森島	克久	板津	邦夫
寺中	哲二	平	一弘	佐々木	義之	横山	裕充	林	政孝	小林	香織
土居	慎也	照井	貴幸	齊藤	敦司	工藤	晋子	濱淵	雅樹	大月	さゆり
田崎	博久	中田	絵理奈	野田	哲史	大野	孝喜	亀岡	朗子	小野	牧子
山岸	敏彦	西川	昌慶	小林	孝三	福山	恵太郎	門脇	正俊	信太	順子
齋藤	光夫	中村	達也	西山	真	佐々木	良一	荒田	一志	木塚	雅貴
伊藤	仙一	柿崎	香	道下	正人	夏井	春喜	泉	みち子	西木	光
紫藤	正行	和田	知賀子	山藤	敬一	佐藤	孝郎	杉本	宏	日森	俊
佛具	克明	成澤	功	今井	國雄	北山	雅士	広井	智紀	前田	賢能
中村	真規	唐神	美和子	稲見	卓人	佐藤	仁大	岸田	壮司	佐藤	孝
穴木	沢 潔	佐伯	雄司	藤原	正士	長井	伸樹	東方	豊松	黒田	洋示
川野	孝志	佐藤	伸喜	池田	満	秋田	興二	田井	中	吉田	聡子
藤井	実	佐藤	泰光	布施	宣善	矢部	和彦	門脇	隆史	辻	満
大庭	英敏	高向	善信	木村	美太郎	岩田	圭剛	齊藤	彰	小笠原	薫
村上	力夫	山上	真知子	網	規行	吉田	宏	小泉	信隆	福井	雅英
大内	俊	柏野	吉貞	山口	文章	岡村	聰	嶋崎	一美	戸田	弘二
浅利	祐一	今泉	博	関谷	祐里	阿部	博光	神林	勲	佐々木	けいし
和田	恵治	廣畑	圭介	尾崎	文彦	石井	紘子	石井	純二	中山	雅文
野村	潤	小林	禎三	小川	邦彦	奥田	知靖	佐藤	昌彦	戸田	安彦
鎌田	力	相馬	秋夫	安部	愛子	大川	哲也	橋本	昭夫	伊藤	仁
北明	敏之	可児	まゆみ	上村	好美	寺井	伸	林	吉明	成田	明
後藤	秋正	水田	香	明神	もと子	杵淵	久美子	工藤	悟	小森	明代
中村	公子	吉田	宏之	阿部	実次	鴈澤	好博	大橋	賢一	高坂	和子
渡部	克孝	酒井	多加志	奥崎	敏之	荒木	美智子	青木	優一	及川	昇
及川	京子	福原	義幸	矢野	秀幸	宿南	靖仁	中西	紗織	佐藤	哲也
神山	浩司	大江	洋	今野	英明	谷口	英夫	長尾	一彦	石川	公浩
中山	稔	岡田	謙藏	永宮	優歌	遠藤	純代	マシチ	スチーフト	竹内	一馬
佐々木	国博	奥村	広	福井	博志	間口	辰博	青山	碧	名達	英詔
龍島	秀広	山形	昇平	平田	新次郎	明神	勲	小出	高義	朝倉	奏子
村上	知子	赤瀬	國治	紺野	高裕	下宇坪	進	島谷	一芳	小出	春司
外山	正條	大石	和博	佐藤	悟	谷村	幸重	中道	莉央	久保	進
藤川	洋子	山本	理人	藤森	由希	遠藤	芳信	森	博人	吉松	純昭
久原	勇	今田	敏文	山口	紀代志	秋山	弘	石井	紀夫	辻	敏明
板橋	博	兵頭	進	高崎	晞						

奨学金授与者から

— 奨学金を授与されて —

【学部学生】

○札幌校 教員養成課程 2年 上林 佳恵

このたびは、北海道教育大学教育支援基金により奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。このような形で、自分の努力を評価していただけたことを大変嬉しく思います。また、寄附していただいた皆様をはじめとする多くの方々の支えで私の学生生活は成り立っているのだということを実感しました。

皆様の期待に応えられるよう、これからはより一層学業に励み、その学びをいかして将来は子どもたちの心に寄り添える養護教諭になりたいと思います。今後とも暖かいご支援、ご指導をよろしくお願い致します。本当にありがとうございました。



○函館校 人間地域科学課程 3年 佐藤 美海

この度は、教育支援基金を授与していただきありがとうございました。奨学生に選んでいただき、大変光栄です。

大学生になり自分もアルバイトを経験し、お金を得ることの大変さを実感しました。皆様から授与していただいた奨学金の重みを感じております。

まだ使い道は決めていませんが、奨学金をこれからの勉学に生かし、将来は人のためになるような仕事に就きたいと考えています。そのためにも、奨学生としての自覚を持ち、より一層勉学に励みたいです。

○函館校 人間地域科学課程 4年 瀬川 琴乃

この度は皆様からの貴重な奨学金を頂きましたこと、本当にありがとうございました。私は現在、社会福祉士を目指し、函館校で福祉の学びを深めています。函館校の特色から、地域の中で実践的に学ぶ機会に恵まれ、様々な人との出会いやつながりを通して、多くの気づきを得ることができました。皆様から頂いたお力と、これらの大学生活の中で得られた多くの貴重な経験を糧とし、目指す専門職の姿に近づけるよう、今後も努力を続けていきたいと思っております。

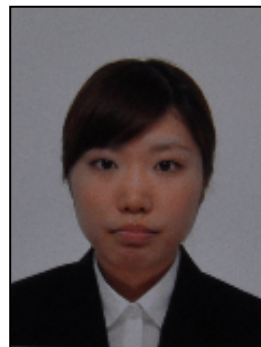


○旭川校 教員養成課程 3年 幸谷 奈緒

このたび、教育支援基金奨学金をいただきました。ご寄付をいただいた方々への感謝の気持ちでいっぱいです。今後は、これまで以上に学業に励み、教師になりたいという夢に向けて努力を続けていきたいと思っております。いただいた奨学金は、夢へとつながる研究や学びのために使わせていただきます。ありがとうございました。

○釧路校 教員養成課程 3年 茂古沼 佳奈

この度は、奨学金をいただくことができ、とても嬉しく思います。本当にありがとうございます。いただいた奨学金で受けたかった実習を受けることができました。また、授業料に当てさせていただきました。とても助かりました。たくさんの方々からの気持ちを受け止め、残りの大学生活をより一層輝くものにしていきたいと思ひます。そして、教員になるという夢に向かって努力していきたいと思ひます。本当にありがとうございます。



○岩見沢校 スポーツ教育課程 2年 中村 悠希

私は大学で勉強することが当たり前だと感じていました。また、学ぶということは提示された物事を卒なくこなすことと勘違いをしていました。この度、奨学金を授与され、私は自らの学ぶ姿勢について考えさせられました。他者から自分の学びを支援されているからには、学ぶこととその学びを活かすことが私の責務であると考えました。能動的な学習が私には必要であると気付くこともできました。最後に、奨学金という形で学びの支援、そして私自身に「気付き」の機会を与えてくださり、ありがとうございました。

○岩見沢校 芸術課程 4年 鹿野 真利江

前回に引き続き、北海道教育大学教育支援基金より奨学金を授与していただき、ありがとうございました。ご支援いただいた多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今後もより一層勉学に励んでいきたいと思ひます。私は大学院への進学が決まりましたので、さらに研究を深めると共に、地域の方々とのつながりや新たな出会いをも大切に、音楽を通して社会に貢献していきたいと思ひます。本当にありがとうございました。



【大学院生（現職教員）】



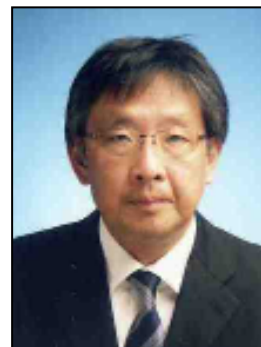
○学校臨床心理専攻（札幌校） 小学校教諭 倉内 明子

この度、奨学金をいただきまして本当に感謝しております。

大学院で学ぶには、授業料以外にも研究に使用する書籍の購入代金や実習参加のための交通費など、思いのほか出費がかさみます。これらは入学前に想定していなかったため、奨学金をいただいて本当に助かりました。この奨学金が現職教員の修学の支えとなり、より多くの先生方が大学院で学ぶ道に進まれることを願っております。教育支援基金にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

○高度教職実践専攻（札幌校） 高等学校教諭 伊勢敏哉

今までの教育実践を振り返るとともに、教育相談について学びたいと考え、昨年教職大学院の門を叩きました。学んだ理論を教育現場で実践し、その内容をまた大学で検証する日々を過ごしています。このような充実した学びが可能となったのは教育支援基金の奨学金を授与していただいたお陰によるものと心より感謝申し上げます。家庭におきまして子どもたちの大学進学期にあたり、経済的に大変助けていただきました。重ねてお礼申し上げます。



○学校臨床心理専攻（函館校） 高等学校教諭 国友優美

養護教諭として、現場で日々心理的援助の必要性と知識不足を痛感し、教員免許を取得した大好きな北海道函館に1年間休業して進学しました。1年間収入がなくなった中で、金銭的援助が頂けたのはもちろん、勉学への支援して頂ける方々の存在が心理的な支えとなり勉強の励みになっています。現在は、東京で現場復帰して修士論文など苦戦していますが、修了目指してがんばりたいと思います。本当にありがとうございます。



○教科教育専攻（旭川校） 中学校教諭 若松拓郎

この度は教育支援基金より奨学金を授与していただき誠にありがとうございます。私は現在、大学から160km離れた中学校に勤務しながら、大学院（長期研修）で研究し、子どもたちのためによりよい授業の在り方や、現場に生きる教育活動について研究しています。研究には多くのお金もかかり、奨学金のおかげでより充実した研究を進めることができるとともに、その責任の重さを実感しております。今後も子どもたちや、寄付をしていただいた方々の期待に応えるよう、努力を続けていきます。本当にありがとうございました。

○高度教職実践専攻（旭川校） 小学校教諭 中川康範

教育支援基金からの奨学金、本当にありがとうございます。多くの方に支えられ、勉学に打ち込める環境を整えていただけたことに感謝します。教員生活11年目に、これまでの実践を客観的に見つめ直してみようと考え、教職大学院に入学しました。教職大学院においては、これまでの実践を振り返るだけでなく、教育哲学や理論を学ぶことができました。ここでの学びを、教室での実践に還元することができるよう、これからも研鑽を深めていきたいと思っています。



○高度教職実践専攻（釧路校） 高等学校教諭 中島太郎

私のように休職して学ぶ院生は、収入がありません。そのため学会参加を経済的理由から、ためらっていました。しかし教育支援基金奨学金の給付を受け、この不安は解消され、道内外への学校視察や学会参加を、することができました。そこでは他の都府県の教育関係者と交流し、その実践から多くのことを学びました。この成果は私の来年度からの勤務の中で、生かしていきたいと思っています。寄付いただいた皆様に、深く感謝しております。

【大学院生（現職教員以外）】

○学校臨床心理専攻学校臨床心理専修（札幌校） 2年 武田 理子

専攻している学校臨床心理は、札幌校をベースキャンパスとして道内各サテライト校が遠隔双方向システムで結ばれているので、函館に住まいながら学ぶことができます。ただ、集中講義や心理実習のため、度々札幌に行くので宿泊・交通費の出費が気がかりでした。けれども、奨学金のおかげで負担が軽減されました。心より感謝申し上げます。修了までの間さらに多くのことを学び、社会に還元したいと思います。ありがとうございました。



（写真右が常本さん）

○教科教育専攻英語教育専修（札幌校） 2年 常本 亜希

私は英語科教員を志し、本大学院において学んでおりますが、自身の英語力を高める為、現在ロンドン大学に交換留学をさせて頂いております。慣れない環境ではありますが、今回奨学生に選んで頂いたことで日々の学びの成果を認めて頂けたように思い、大変心強く感じました。留学の成果を帰国後存分に活かせるよう、これからも一層精進して参ります。最後になりますが、この場をお借りしてご支援下さっている皆様に厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

○学校教育専攻学校教育専修（釧路校） 2年 今野 菜月

このたびは、北海道教育大学教育支援基金の奨学金を受け取らせていただきまして、誠にありがとうございました。お陰さまで、研究活動に精一杯打ち込むことができ、研究のさらなる発展に役立たせております。大学院修了後も、この研究を生かしていくことで社会に貢献していきたいと思っております。また、今回の寄付の感謝の気持ちを忘れずに、教員として未来ある子どもたちの成長に存分に寄与できるよう努力して参ります。本当にありがとうございました。



ご 連 絡

◆ 寄附者のお名前の掲載

ご寄附をいただいた方々のご協力に感謝し、本学のホームページにご芳名を掲載させていただきます。

※ご芳名の掲載を希望されない方は、その旨ご連絡下さいますようお願いいたします。

なお、ご寄附をいただいた際に大学広報誌へのご芳名の掲載を希望されなかった方については、本学のホームページへの掲載はいたしません。

◆ 寄附者銘板

団体10万円以上、個人5万円以上のご寄附をいただいた方々のご芳名を、「北海道教育大学教育支援基金寄附者銘板」に刻み、未永く顕彰させていただきます。

※ご芳名の掲載を希望されない方は、その旨ご連絡下さいますようお願いいたします。

なお、ご寄附をいただいた際に大学広報誌へのご芳名の掲載を希望されなかった方については、「寄附者銘板」への掲載はいたしません。



(事務局棟 花壇近影)

【お問い合わせ先】

北海道教育大学教育支援基金事業実施部
〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号
北海道教育大学総務部総務課
教育支援基金事務室
TEL:011-778-0207 FAX:011-778-0631
E-mail:s-somu@j.hokkyodai.ac.jp
<http://www.hokkyodai.ac.jp/>